

令和4年度京都府環境マネジメントシステム（エコオフィス活動）

運用結果（本庁舎＋4広域振興局）

京都府では、毎年度、エコオフィス活動に係る共通目標を設定し、取組を進めている。令和4年度は、①温室効果ガスの削減、②廃棄物量の削減、③コピー用紙購入枚数の削減（平成28年度比10%削減）を共通目標として定め、取組を行った。

なお、外部環境監査において、府職員の環境意識は高いレベルで維持されていることを確認した。

① 温室効果ガスの削減

庁舎における電気使用量や燃料使用量の削減等により、温室効果ガス削減を目標として掲げている。令和4年度の京都府の事務事業における温室効果ガス排出量は91,063t-CO₂となり、前年度（令和3年度）から5.5%の減少を実現できている。

② 廃棄物量の削減

リサイクルの推進、廃棄物の減量化、物品の長期使用により、廃棄物量の削減を目標として掲げている。

令和4年度の可燃物排出量は、京都府庁全体で前年度（令和3年度）と同等程度であり、過去5年の推移をみても、排出量削減を実現できている。

可燃物排出量（m³）

	H30	R1	R2	R3	R4	前年度比
本庁舎	457.6	391.0	396.2	306.5	316.2	+3.2%
振興局	289.4	375.3	345.4	345.8	335.4	▲3%
山城	64.3	113.1	103.8	144.7	125.9	▲13%
南丹	87.3	98.8	102.9	76.5	75.2	▲1.7%
中丹	71.2	85	76.6	59.9	60.5	+1%
丹後	66.6	78.4	62.1	64.7	73.8	+14%

③ コピー用紙購入枚数の削減（平成28年度比10%削減）

会議のペーパーレス化の推進や両面印刷の推進等により、用紙類使用量の平成28年度比10%削減を目標として掲げている。

令和4年度は、京都府庁全体で平成28年度比15%以上の削減率を実現しており、目標を達成している。

コピー用紙購入枚数（千枚）

	H28(基準年)	R3	R4	H28年度比
本庁舎	60,024	42,582	50,024	▲17%
振興局	22,890	20,203	20,366	▲11%
山城	9,315	9,040	8,574	▲8%
南丹	4,431	3,832	3,704	▲16%
中丹	5,538	4,098	4,869	▲12%
丹後	3,607	3,233	3,219	▲11%